

平成 14年 3月期決算説明資料

平成 14年 6月 4日



平成14年3月期決算説明資料

< 目次 >

P1	平成14年3月期業績(1)
P2	平成14年3月期業績(2)
P3	資金粗利鞘の状況
P4	信託報酬の状況
P5	部門別収益および経費率
P6	退職給付債務・費用の状況
P7	連結自己資本比率
P8	繰延税金資産の状況
P9	預金・貸出金の状況(単体・期中平均残高ベース)
P10	有価証券残高および構成比の状況(銀行勘定・国内分)
P11	有価証券含み損益の状況
P12	平成15年3月期業績見込(単体)
P13	連結業績の状況

平成14年3月期業績 (1)

損益の状況【単体】

(単位: 百万円)

	14年3月期	13年3月比	13年3月期
業 務 粗 利 益	264,939	11,696	276,635
国内業務粗利益	249,205	16,881	266,086
資金利益	177,258	5,566	171,691
信託報酬	42,204	12,628	54,833
役務取引等利益	23,275	3,657	26,932
特定取引利益	860	161	1,022
その他業務利益	5,606	5,999	11,606
国際業務粗利益	15,733	5,184	10,549
資金利益	2,366	88	2,277
役務取引等利益	1,747	25	1,722
特定取引利益	2,562	2,542	19
その他業務利益	9,057	2,528	6,529
経 費 (除く臨時処理分)	158,681	3,044	161,726
人件費()	54,871	4,136	59,008
物件費()	97,789	1,056	96,732
うち預金保険料	8,455	730	7,725
税金 ()	6,020	35	5,985
一般貸倒引当金繰入額()	73,713	68,372	5,340
信託勘定不良債権処理額	4,034	1,259	2,775
実勢業務純益	110,292	7,392	117,685
コア業務純益	104,625	6,795	111,420
業務純益	32,543	77,024	109,568

(注) 実勢業務純益: 信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入を除いた業務純益

コア業務純益: 債券五勘定収益、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入を除いた業務純益

国内資金利益は55億円の増加

- ・資金粗利鞘が0.03%拡大したほか平残増加により資金利益は増益(利回り要因29億円、平残要因26億円)
- ・預貸金利回差は0.05%改善
- ・13年3月期より有価証券の未収利息計上を実施→合算資金利益で前年同期比63億円の減益要因
- ・金利スワップは約37億円の支払超過(支払超過額は前年同期比28億円の減少)

信託報酬は126億円の減少

- ・合同勘定の不良債権処理が40億円と前期比12億円増加
- ・有価証券の減損処理により証券関係損益が34億円と前期比46億円悪化
- ・元本減少による資金利益減少37億円

国際業務粗利益は外為売買益12億円増加、特定取引収益25億円増加等により51億円の増収

一般貸倒引当金繰入額は683億円増加

- ・予想損失率の算定方法を保守的に変更
- ・要管理債権選定基準の見直しによる要管理債権の増加

経費は従来以上の合理化・効率化により30億円減少

- ・人員削減434人などにより人件費は前期比41億円減少
- ・物件費は統合関係費用や新営業店システム関連費用により前期比11億円増加

平成 14 年 3 月 期 業 績 (2)

損益の状況【単体】

(単位:百万円)

	14年3月期	13年3月比	13年3月期
実 勢 業 務 純 益	110,292	7,392	117,685
コ ア 業 務 純 益	104,625	6,795	111,420
業 務 純 益	32,543	77,024	109,568
臨 時 収 支	578,504	464,106	114,397
うち 株 式 関 係 損 益	247,739	278,830	31,091
株式等売却益	11,292	35,204	46,496
株式等売却損 ()	19,148	14,572	4,576
株式等償却 ()	239,883	229,053	10,829
投資損失引当金繰入額 ()	-	-	-
うち 不 良 債 権 処 理 額	317,764	172,728	145,036
貸出金償却 ()	84,804	7,247	77,556
個別貸倒引当金繰入額 ()	215,491	164,466	51,025
債権売却損失引当金繰入額 ()	5,261	6,350	11,612
特定債務者支援引当金繰入額 ()	-	-	-
買取機構宛債権売却損 ()	4,590	927	3,662
特定海外債権引当勘定繰入額 ()	123	385	508
その他不良債権処理額 ()	7,739	6,051	1,687
うち 東京 都・大阪 府 外 形 標 準 事 業 税 ()	5,817	3,916	1,901
経 常 利 益	545,960	541,131	4,829
特 別 損 益	4,890	4,290	9,181
うち 動 産 不 動 産 処 分 損 益	553	3,746	3,193
動 産 不 動 産 処 分 益	398	4,522	4,921
動 産 不 動 産 処 分 損 ()	952	776	1,728
税 引 前 当 期 利 益	541,069	545,421	4,351
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 ()	317	3,404	3,721
法 人 税 等 調 整 額 ()	106,747	118,366	11,619
当 期 利 益	434,639	423,650	10,989

業務純益は325億円と、一般貸倒引当金繰入の増加683億円等により、前期比770億円(70.2%減)の大幅な減益

コア業務純益は1,046億円と前期比68億円減少(6.1%)だが、13年3月期より実施の配当金未収計上の会計処理変更の影響を加味すれば実質30億円の増益

株式関係損益は2,788億円の減少
・安定的な収益基盤の確保という観点から、含み損が30%以上の銘柄については全て減損処理

銀行勘定の不良債権処理は1,727億円増加の3,177億円(信託勘定の同処理と一般貸倒引当金繰入額を加えた与信費用総額は3,955億円)

【主な要因】

新規破綻、業績悪化 560億円
関係会社適正化終了 104億円
・CCPC関連損失 99億円
債権売却損 62億円
統合、検査等を踏まえた最終処理 2,350億円

以上から、5,459億円の経常損失を計上
償却債権取立益(54億円)等の特別損益(48億円)を加えた税引前損益は、前期比5,454億円減少の5,410億円の損失。
また、法人税等調整額等(1,064億円)を差し引いた当期損失は4,346億円

資金粗利鞘の状況

資金粗利鞘 (国内業務部門)

(単位 :%)

	14年3月期	13年3月比	13年3月期
資金運用利回 (A)	1.63	0.14	1.77
貸出金利回 (C)	1.94	0.08	2.02
有価証券利回	0.74	0.30	1.04
資金調達利回 (B)	0.27	0.17	0.44
預金債券等利回 (D)	0.18	0.13	0.31
外部負債利回	0.97	0.68	1.65
資金粗利鞘 (A) - (B)	1.36	0.03	1.33
預貸金利回差 (C) - (D)	1.76	0.05	1.71

(注) 当行は信託併営のため、信託業務にかかる経費が原価に加わり他行との比較が困難であることから、経費を含まない「資金粗利鞘」を表示。

信託報酬の状況

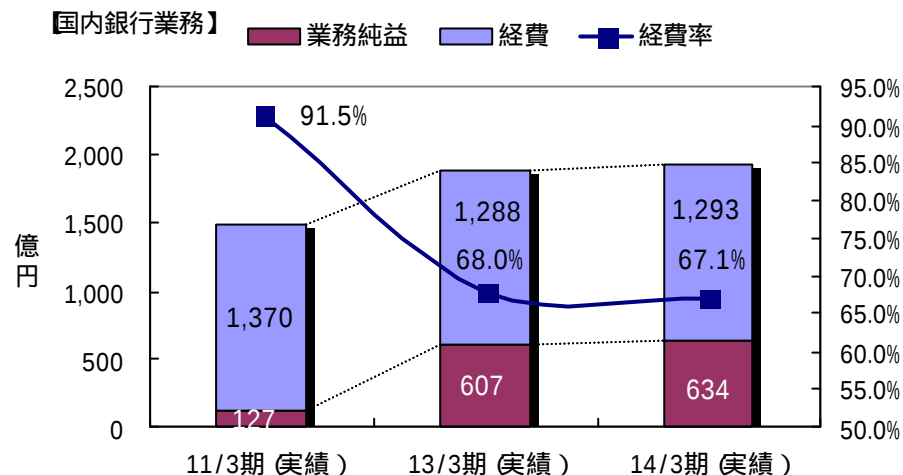
(単位 :百万円)

	14年3月期	13年3月期	増減
信託報酬	42,204	54,833	12,628
財管部門	35,124	37,828	2,704
預貸部門 (合同勘定)	7,080	17,005	9,925
(うち資金利益)	15,941	19,659	3,718
(うち証券五勘定)	3,412	1,194	4,606
(うち不良債権処理)	4,035	2,775	1,260
信託報酬 (大和銀信託 計上分)	2,141	---	2,141
年金信託手数料 (注) (銀行勘定計上分)	4,726	4,439	287
実質的財管部門報酬 ($\text{€} + +$)	41,991	42,267	276

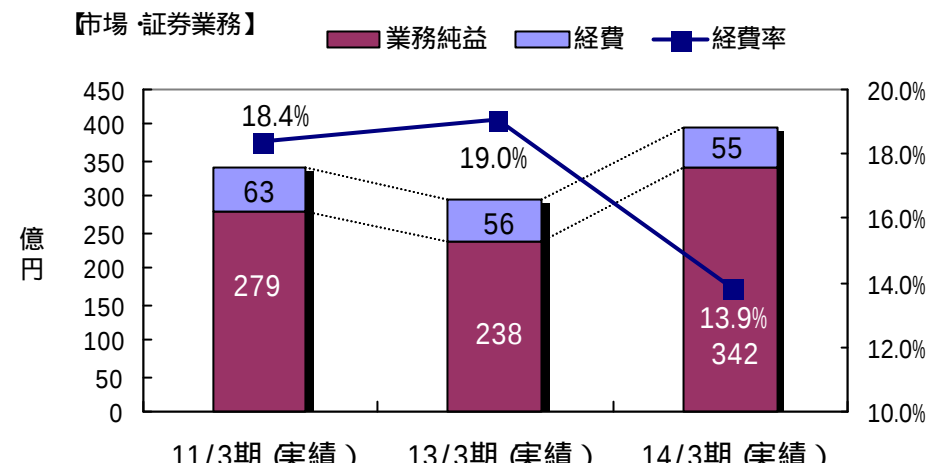
(注) 厚生年金にかかる業務受託手数料。14年3月期計数には大和銀信託計上分 (448百万円)を含む

部門別収益および経費率

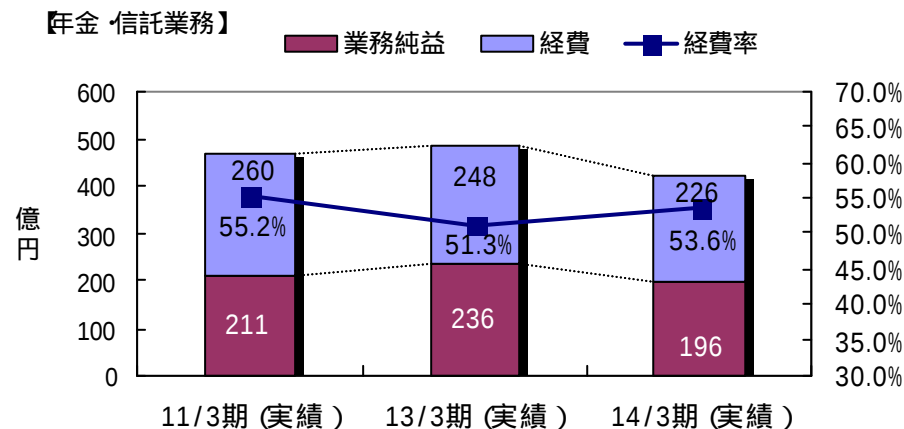
【国内銀行業務】



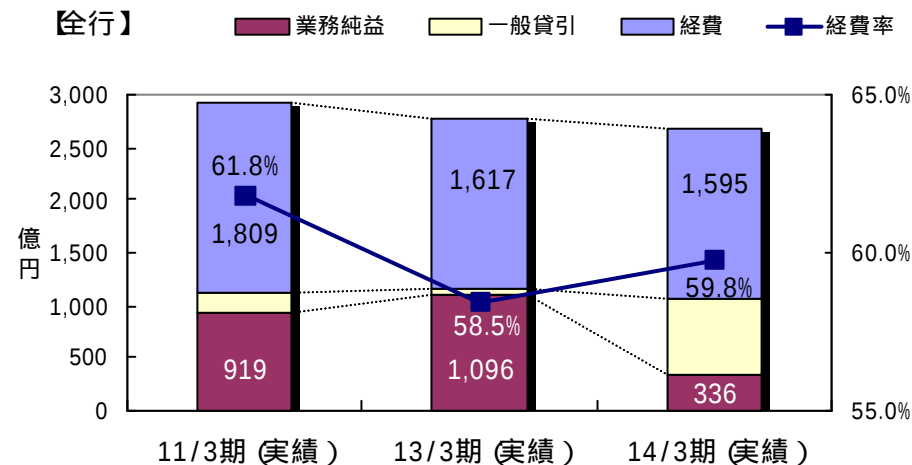
【市場・証券業務】



【年金・信託業務】



【全行】



コア業務純益：629億円

1,114億円

1,057億円

収益上のウェイトの大きい三部門を抽出 (内部管理会計に基づく計数)

14/3期実績は、大和銀行と大和信託銀行との合計額を計上

国内銀行業務には合同勘定の資金利益を含む (合同勘定不良債権処理前)

市場・証券業務は、保有有価証券ポートのキャリ-益を含む (キャピタルゲインは含まず)

退職給付債務・費用の状況

【単体】

(単位 :百万円)

	14年3月期	13年3月比	13年3月期
退職給付債務残高 (期首)	251,238	4,513	246,725
うち未償却部分	69,826	7,758	77,584
信託設定による処理額	-	-	-
当期の償却額	7,758	0	7,758
要償却残高	62,067	7,758	69,826
退職給付費用	16,910	6,310	10,600

【連結】

(単位 :百万円)

	14年3月期	13年3月比	13年3月期
退職給付債務残高 (期首)	278,602	3,535	275,067
うち未償却部分	70,263	14,527	84,790
信託設定による処理額	-	-	-
当期の償却額	8,195	57	8,252
要償却残高	62,067	14,471	76,538
退職給付費用	19,265	6,837	12,428

連結自己資本比率

【連結】

(単位 : 億円、%)

	14年 3月末 (速報値)	13年 3月比	13年 3月期
自己資本比率	8.35	2.98	11.33
Tier 比率	4.21	3.28	7.49
自己資本額	8,306	4,315	12,621
Tier	4,193	4,143	8,336
うち有価証券評価差損	494	494	-
Tier	4,193	712	4,905
うち土地再評価差額金	-	-	-
うち劣後債務残高	4,062	147	4,209
控除項目 ()	80	541	621
リスクアセット	99,366	11,933	111,299
(為替 : 円 / 1\$)	133.25	9.35	123.90

(注) 控除項目 : 他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額等

自己資本比率は、13年3月期比 2.98% 低下

Tier は前期末比 4,143億円減少

大和銀行の連結当期損失	3,366億円
大和銀信託の分社化に伴う資本減少	230億円
その他有価証券評価差額	494億円

Tier の減少に伴う算入限度額の減少によりTier IIは前期末比 712億円減少

繰延税金資産の状況

14年3月期末の繰延税金資産は2,851億円（前年度末比1,067億円の増加）

（単位：億円）

	14年3期		13/3期		14/3期 法人税等 調整額 (A)-(B)
	対象残高	繰延税金 資産 (A)	対象残高	繰延税金 資産 (B)	
有税残高	7,995	3,023	4,733	1,784	1,239
繰越欠損金	2,220	839	-	-	839
評価差額	486	184	-	-	184
評価性引当額	3,159	1,194	-	-	1,194
合計	7,542	2,851	4,733	1,784	1,067
実効税率	37.81%		37.70%		

預金・貸出金の状況 (単体・期中平均残高ベース)

【単体】

(単位 :百万円)

	14年3月末	13年9月比	13年3月比	13年9月末	13年3月末
預金 (未残)	10,963,041	1,239,667	1,504,264	9,723,374	9,458,777
預金 (平残)	9,595,654	33,548	1,048,569	9,629,203	10,644,224
信託元本 (未残)	698,676	204,877	298,108	903,554	996,785
信託元本 (平残)	895,796	53,867	288,755	949,664	1,184,552
貸出金 (未残)	10,057,138	451,067	674,170	10,508,206	10,731,309
銀行勘定	9,612,764	408,113	593,031	10,020,878	10,205,796
信託勘定	444,374	42,953	81,138	487,328	525,513
貸出金 (平残)	10,313,409	59,098	96,808	10,372,508	10,410,218
銀行勘定	9,824,990	39,032	1,856	9,864,023	9,826,847
信託勘定	488,419	20,065	94,951	508,485	583,371

国内個人・法人預金等の種類別内訳

(単位 :百万円)

	14年3月末	13年9月比	13年3月比	13年9月末	13年3月末
国内個人預金 (未残)	4,965,577	78,797	106,545	4,886,780	4,859,032
うち流動性預金	2,161,041	326,333	378,241	1,834,708	1,782,800
うち定期性預金	2,738,937	221,695	258,531	2,960,632	2,997,468
国内法人預金 (未残)	4,660,998	537,840	595,529	4,123,158	4,065,469
うち流動性預金	3,323,340	1,322,308	1,511,898	2,001,032	1,811,442
うち定期性預金	1,159,472	801,689	957,386	1,961,161	2,116,858

(注) 1. 日銀報告ベースで算出 (除く海外、特別国際金融取引勘定)

2. 流動性預金 = 当座預金 + 普通預金 + 貯蓄預金 + 通知預金 定期性預金 = 定期預金 + 定期積金

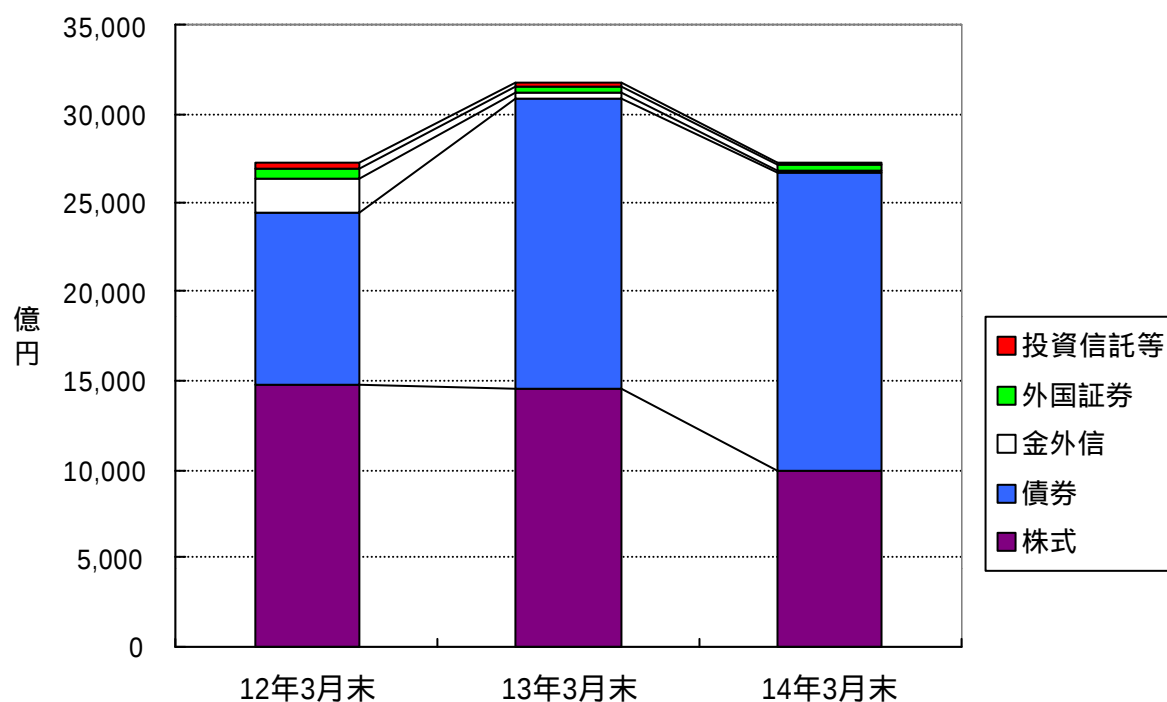
有価証券残高および構成比の状況 (銀行勘定・国内分)

14年3月末の保有株式残高は、13年3月末比 4,560億円の減少

14年3月期は約1,600億円の株式売切りを実施

→ 早期に保有株式残高をTier1の範囲内に圧縮する

	(億円)		
	12年3月末	13年3月末	14年3月末
金外信	1,912	346	36
外国証券	542	332	451
円貨建外債	19	37	37
外貨建外債	223	7	45
外貨建投信	37	29	29
株式等	263	259	340
投資信託等	321	255	133
株式	14,765	14,493	9,933
債券	9,722	16,342	16,745
合計	27,262	31,767	27,165
債券デレージョン	4.26	3.49	4.10



有価証券含み損益の状況

【14年 3月 期】

- ・含み損率 30% 以上の銘柄は、全て減損処理
- ・14年 3月 期より、株式の評価基準を期末日前1ヵ月平均に変更
- ・子会社 (コスモ証券)、親会社 (旧近畿大阪銀行) 株式も減損処理を実施
(日経平均株価 期末日：11,024円、期末日前1ヵ月平均：11,449円)

【単体】

(単位 :百万円)

	14年 3月 期				13年 3月 期		
	評価差額	うち益	うち損	前期末比	評価差額	うち益	うち損
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	47,431	47,431	-	47,431
その他有価証券	48,654	47,773	96,428	53,154	101,809	84,253	186,063
合 計	48,654	47,773	96,428	100,586	149,240	84,253	233,494
債 券	11,235	12,000	765	3,871	15,107	16,089	982
株 式	60,536	34,073	94,609	101,367	161,903	65,476	227,380
そ の 他	645	1,699	1,053	3,090	2,444	2,687	5,132

(注)「有価証券」のほか、「特定取引資産」中の商品有価証券及びコマーシャル・ペーパー、「現金預け金」中の譲渡性預け金を含む。

株式売切り簿価

(単位 :億円)

	14年 3月 期	13年 3月 比	13年 3月 期
株式売切り簿価	1,602	587	1,015

(注)上記14年3月期株式売切り簿価には、退職給付信託設定の為の抛出株式簿価886億円を含む

平成 15 年 3 月期業績見込 (単体)

【単体】

(単位 : 億円)

	15年3月期予想	14年3月期実績
業 務 粗 利 益	2,482	2,649
(うち銀行国内資金利益)	1,870	1,772
(うち債券五勘定収益)	20	56
一般貸倒引当金繰入 ()	0	737
経 費	1,457	1,586
業 務 純 益	1,025	325
< 実勢業務純益 >	1,025	1,102
< コア業務純益 >	1,005	1,046
臨時損益	880	5,785
うち株式等損益	0	2,477
うち不良債権処理 ()	700	3,177
経 常 利 益	145	5,459
特 別 損 益	50	48
税 引 前 利 益	195	5,410
法人税等調整額等 ()	0	1,064
当 期 利 益	195	4,346

自己資本比率 (国内基準) の予想

(単位 : %)

	15年3月期予想 (予想値)	14年3月期実績 (速報値)
自己資本比率 (単 体)	8.5%程度	8.24
自己資本比率 (連 結)	8.5%程度	8.35

【15年3月期計画の前提】

短期金利 14年3月末の水準横ばい
・長期金利 14年3月末の水準横ばい
・日経平均株価 14年3月末の水準横ばい
銀行貸出金平残 14年3月期対比 3,500億円
銀行預貸金利回差 14年3月期対比 + 0.17%
・15年3月のあさひ銀行との再編による影響は織り込まず

銀行国内資金利益は、ボリューム減少の影響を、運用効率の改善で補い、全体としては約100億円の増加を見込む (資金粗利鞘 + 0.14%)

信託報酬は大和銀信託銀行への年金・法人信託部門の移転に伴い、約300億円減少し約110億円

手数料収支はJTSBへの再信託手数料負担 (約90億円) がなくなり、新たに信託代理店手数料が発生することから約100億円の増収

人件費 (約70億円)、物件費 (約60億円) など、引き続き合理化等に注力

以上により、業務純益は前期比700億円の増加の1,025億円を見込む

今期の与信費用は景気低迷の長期化や最終処理も勘案し、700億円を見込む

以上より、経常利益145億円、当期利益195億円を見込む

連結業績の状況

【連結】

(単位:百万円)

	14年3月期	13年3月期比	13年3月期
連結粗利益	321,745	26,775	348,520
資金利益	182,072	7,775	174,297
信託報酬	42,204	12,628	54,833
役務取引等利益	48,634	9,216	57,851
特定取引利益	5,354	2,564	2,790
その他業務利益	43,478	15,269	58,748
一般貸倒引当金繰入額()	71,671	65,094	6,577
営業経費()	227,670	247	227,918
臨時収支	471,929	344,097	127,832
うち株式関係損益	153,615	181,185	27,569
うち不良債権処理額	316,259	172,957	143,301
貸出金償却()	86,520	245	86,766
個別貸倒引当金繰入額()	212,257	172,166	40,091
債権売却損失引当金繰入額()	5,261	6,350	11,612
特定債務者支援引当金繰入額()	-	-	-
債権放棄()	1,580	1,580	-
債権売却損()	4,590	760	5,350
特定海外債権引当勘定繰入額()	109	408	518
その他債権売却損()	6,159	6,159	-
うち持分法による投資損益	1,265	10,763	12,028
経常利益	449,525	435,718	13,807
特別利益	7,097	4,111	11,209
特別損失()	1,695	2,642	4,338
税金等調整前当期純利益	444,124	437,188	6,936
法人税、住民税及び事業税()	1,722	3,715	5,438
法人税等調整額()	107,626	117,490	9,864
少数株主利益()	1,612	2,844	1,232
当期純利益	336,608	313,136	23,472

連結対象会社数

(単位:社)

	14年3月期	増減	13年3月期
連結子会社数	26	19	45
持分法適用会社数	2	7	9

連結対象子会社は前期末比26社の減少。業務規制上の関係会社の適正化を終了

経営統合により、近畿大阪銀、奈良銀行は関係会社から除外

経常損益の連単差異(連結 - 単体)は964億円

→主として

- ・子会社株式の減損処理の取消し(622億円)
- ・近畿大阪銀行が持分法対象除外となった影響(190億円)
- など

【ロコモ証券の業績】(単体)

(百万円)

	14年3月期	13年3月期
経常損益	2,522	2,079
特別損益	147	1,187
税引前純損益	2,668	892
法人税等調整額	969	969
当期純損益	3,672	1,827

【平成15年3月期業績予想】(大和銀行連結)

(億円)

	15年3月期
業務粗利益	2,482
業務純益	1,025
経常利益	145
当期利益	195

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標(計画)対比異なる可能性があることにご留意下さい。

【本資料に関するお問合せ先】

大和銀ホールディングス 広報部

本 社 : 06-6268-7444

東京支社 : 03-5223-5274